

環境と健康

環境づくり・健康づくりのコミュニティ情報紙

発行者
一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会
佐藤 均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号 730-8631
電話 082-293-1511番
振替口座01380-2-27511
URL <http://www.kanhokyo.or.jp/>

犬や猫のこと、考えてみませんか? 人と動物との調和のとれた共生社会の実現を目指して

少子高齢化、核家族化が進む中で、犬や猫は、単なる愛護の対象から、「家族の一員」あるいは「人生のパートナー」となり、飼い主と深い関わりを持つようになってきました。一方、犬や猫に関する理解の不足を原因とした遺棄や虐待、飼い方のマナーの欠如による近隣への迷惑行為、無責任な餌やりで起因する野良犬猫による被害など、課題も多く存在しています。

広島県でも、犬や猫に関する苦情や相談が、毎日のように動物愛護センターに寄せられています。こうした犬や猫に関する課題を解決するため、私たちには何ができるのでしょうか。動物を飼っている人も、飼っていない人も、今一度立ち止まって、これらの問題について考えてみませんか。

犬や猫を取り巻く問題を考える上で大事なことは、「愛護」と「管理」の2つの視点をもつことです。「愛護」とは、その命の尊厳をまもり、大切に接すること。「管理」とはそれぞれの動物の習性や生態を理解し、他人やまわりの環境に迷惑をかけないよう、適切に最期までお世話をする事です。犬や猫を含めた動物に関わる場合は、これら2つの責任をもってその命に向き合う必要があります。

この連載では、今年6月に始まったマイクロチップ制度の紹介や、広島県が支援している地域猫活動の紹介を通じて、みなさん一人一人が動物の「愛護」と「管理」を考えるきっかけになればと考えています。

次回は、犬や猫のマイクロチップについて紹介します。

(広島県健康福祉局食品生活衛生課)



令和4年7月21日、22日に、呉市のグリーンピアせとうちを会場に、「第60回環境保健夏季大学(合同研修)」を開催しました。コロナウィルス感染予防や大雨による中止などで、3年ぶりの開催となり、2日間で150人が参加しました。

夏季大学は例年、1泊2日の研修プログラムを企画していましたが、今年度は日帰り2日のプログラムを実施しました。日帰りプログラムは、昨年度に実施する予定でしたが大雨で中止になったため、今年度ようやく実現した企画です。

初日は、来賓として広島県健康福祉局山崎真紀総括官から挨拶をいただき、続いて健康づくりをテーマに、広島県からの情報提供やフレイルミ講座&ポールストレッチ実習、口腔保健に関する講演を行いました。



コロナ禍は収まっていないが、3年ぶりの参集は好評だった

3年ぶりに夏季大学を開催 日帰りプログラムに150人参加

環境づくりの中でも特に防災・減災をテーマに、災害ボランティアセンターで活躍された増田講師による講演や、環境と健康のコミュニティ活動助成事業で助成を行った3団体の共助井戸に関する事例発表を行いました。公衛協の新たな活動テーマである防災・減災に関する内容であったため、会場からの質問も活発に行われました(関連記事2面参照)。

講演や事例発表など、聴講時間が長かったにもかかわらず、参加者アンケートの満足度は高く、充実した研修となったようです。

次年度以降も研修内容に工夫を凝らしていきたいと思えます。ご期待ください。

(地域活動支援センター)



県健康づくり推進課からの情報提供(上)、助成事業の成果を事例発表(左)

きんせんか 琴線歌

昨年(2021)の8月、安芸高田市は大雨による堤防の決壊等土砂災害被害を受けました。地域をパトロールし情報収集に努めた際、あたりに石や木がごろごろと転がっていたのを思い出します。▼家の浸水被害も多く、被災3日目は市が管理する被災ごみの仮置き場が開設されました。ほとんど市役所から公衛協に、仮置き場での分別呼びかけの支援要請があり、約15日間、市職員と共に公衛協の役員が2~5人態勢で、分別や荷下ろしを支援しました。▼仮置き場には、被災ごみを積んだ車の渋滞が発生し、食事をとる間もなくひっきりなしにごみが運ばれてきました。被災ごみのその後のことを考えれば、分別は必須です。分別することで搬

被災ごみの仮置き場で

イントです。また、地域活動への関わりが薄い若い世代が、有事の際に活躍してくれるような仕組みづくりも大切です。▼再び起こる欲しくはないですが、今、今後の災害に向けた備えが必要なのではないでしょうか。

(安芸高田市公衆衛生推進協議会会長 光永善治)



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~ 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)
TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

基本理念 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。

